

自動化で未来を拓く

創業以来、自動化技術のパイオニアとして常に時代のニーズを先取りし、自動機械装置・機器商品の2つを軸に、さまざまな商品を開発してきたCKD。その技術は継承され、時代とともにさらなる進化を続けています。

豊富な商品ラインアップを誇るCKDでは、それらを支える技術も幅広く、分野を超えて多岐にわたります。

今後は、自動機械装置、機器商品それぞれが長年磨き上げた技術を融合させ、世界のFAトータルサプライヤーを目指していきます。



本報告書について

- 本報告書は、これまでCSRレポートでお伝えしてきた情報に加え、全てのステークホルダーの皆様にCKDの全体像をご理解いただくことを目的に、中長期的な経営戦略や価値創造、業績等の財務情報、ガバナンス、環境や社会との関係性等の非財務情報をまとめた統合報告書として発行しました。
- 今回の編集にあたっては、IIRC（国際統合報告評議会）等の国際統合報告フレームワークやGRI（Global Reporting Initiative）のスタンダードを参考としています。
- 当社は、今後「統合報告書」をステークホルダーの方々とのコミュニケーションツールの一つとして活用し、事業を通じた社会貢献と、持続可能な社会の実現や企業価値向上に努めていきます。

コミュニケーションツール



統合報告書

業績ハイライト、社長メッセージ、事業概要、戦略や将来の方向性、過去の業績推移、財務情報などをまとめ、発行しています。



コーポレート・ガバナンス報告書

コーポレート・ガバナンスの状況を記載しています。



有価証券報告書

事業年度における、四半期ごとの実績および年間の実績を報告しています。



CSRレポート

CKDグループの企業活動を報告しています。従来のCSRレポートに代わり統合報告書として発行しています。



決算関連資料

決算短信と決算説明資料を掲載しています。



CKD技報

長年当社が蓄積してきた自動化を革新するための課題、問題解決への技術・研究開発の成果を技術情報としてご紹介しています。



株主総会資料

招集通知、決議通知など、株主総会に関連した資料を掲載しています。

主なコミュニケーションツールは、CKD Web サイトの「ホーム」>「IR 情報」>「IR ライブラリ」に掲載しています。どうぞご覧ください。



URL: <https://www.ckd.co.jp/ir/>

CONTENTS

CKDの企業価値創造

進化を続けるCKD	02
企業価値創造モデル	04

経営戦略

トップメッセージ	06
財務・資本戦略	11
価値創造を実現するCKDの基盤	12
成長の樹	14
At a Glance	16
事業概況と見通し	18

ESG 情報

ESG 領域におけるSDGsの取り組み	24
ESG サマリー	26
ステークホルダー・エンゲージメント	27
コーポレート・ガバナンス	28
リスクマネジメント	32
コンプライアンス	33
役員一覧	34
人材	36
品質マネジメントシステム	38
環境マネジメントシステム	40
地域社会	42

財務・会社情報

財務・非財務ハイライト	44
11年間の財務サマリー	46
株式情報	48
会社情報	49

免責事項

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

進化を続けるCKD

CKDは1943年の創業から、75年以上にわたって自動化技術や流体制御技術の研究開発に取り組み、多岐にわたる豊富な商品のラインアップを誇っています。これらの商品は広く社会に浸透し、豊かな社会の実現と、新しい時代の創造に貢献しています。

売上高
(百万円)

120,000 —

■ 売上高

■ 営業利益

100,000 —

80,000 —

60,000 —

40,000 —

20,000 —

1946 1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980

1946～1976年度
1977～2017年度
2014～2015年度

単体の実績
連結の実績
海外子会社の決算期を12月末から3月末に変更

1973年
オイルショック

技術と経営

1943年

日本航空電機株式会社
設立

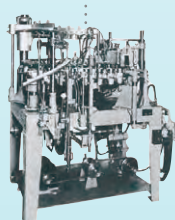


1945年

中京電機株式会社へ改称

1947年

真空管製造装置
当社初の
自動機械装置
として製造を開始



1955年

薬品自動包装機

真空管製造装置から発展したアンブル充填機の製造を契機に包装市場に進出し、ストリップパッケージングマシンを開発



1956年

ACソレノイド開発

自動機械装置用に開発した当社初の機能部品を製造開始。後に機能部品が当社を支える大きな柱となる



1960年

シリンダ開発

空気圧シリンダの元祖となるセルシリンダを生産開始

1961年

工場を愛知県小牧市へ移転



1963年

空気圧式インデックステーブル

バレルカムとエアシリンダを組み合わせた空気圧式インデックステーブルを開発

1968年

電解コンデンサ素子巻機

電解コンデンサを製造する機械に、当社の機能部品が使用されていることから、電解コンデンサ素子巻機を開発

1979年

シーケーディ株式会社へ改称

1984年

初の海外現地法人としてマレーシアに「M-CKD PRECISION SDN. BHD.」を設立



ファイン
システム機器

当社初の半導体製造装置向け製品を開発

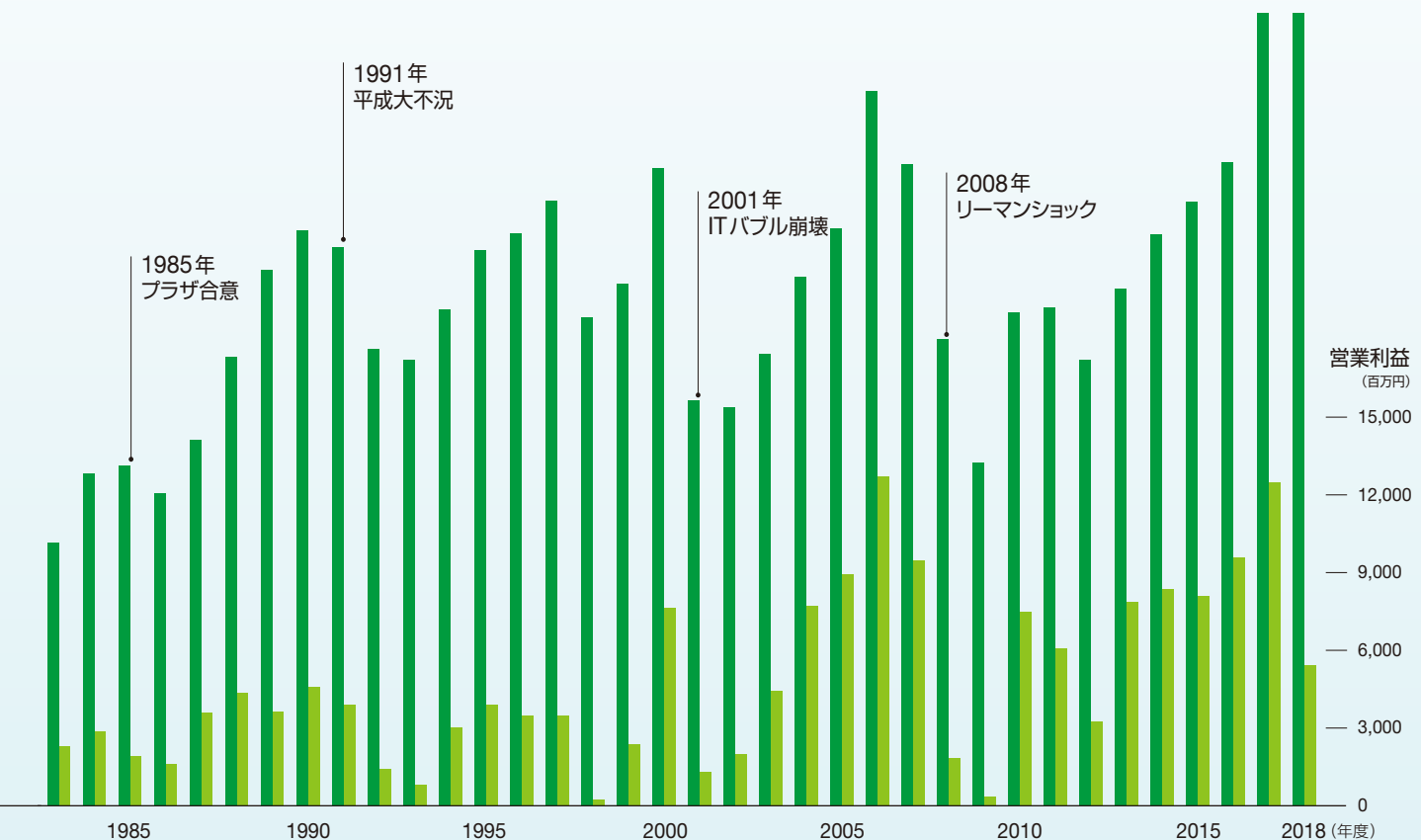


2019～2021年度 第4次中期経営計画 Build-up CKD 2021

2016～2018年度 第3次中期経営計画 Challenge CKD 2018

2013～2015年度 第2次中期経営計画 GLOBAL CKD 2015

2010～2012年度 第1次中期経営計画 NEW CKD 2012



1985年

アメリカに「CKD USA CORPORATION」を設立



1988年

タイに「CKD THAI CORPORATION LTD.」を設立



1989年

シンガポールに「CKD SINGAPORE PTE. LTD.」を設立

1992年

三次元はんだ印刷検査機
1970年代から画像処理技術に取り組み、一次元画像処理、二次元画像処理を経て、高速で三次元での検査が可能な装置を開発



2001年

中国に「喜開理(上海) 機器有限公司」を設立

2002年

韓国に「CKD 韓国株式会社」を設立

2003年

中国に「喜開理(中国) 有限公司」を設立

2007年

台湾に「台湾喜開理股份有限公司」を設立

2012年

自動機械のサービス会社として「CKDフィールドエンジニアリング株式会社」を設立

2013年

中国に喜開理(中国) 有限公司の新工場を竣工

2014年

インドネシアに「PT CKD TRADING INDONESIA」を設立

ベトナムに「CKD VIETNAM ENGINEERING Co., LTD.」を設立

インドネシアに「PT CKD MANUFACTURING INDONESIA」を設立

2015年

メキシコに「CKD MEXICO, S. DE R.L. DE C.V.」を設立
インドに「CKD India Private Limited」を設立

2016年

14社目の海外現地法人としてオランダに「CKD Europe B.V.」を設立

2017年

日機電装株式会社を事業統合

2019年

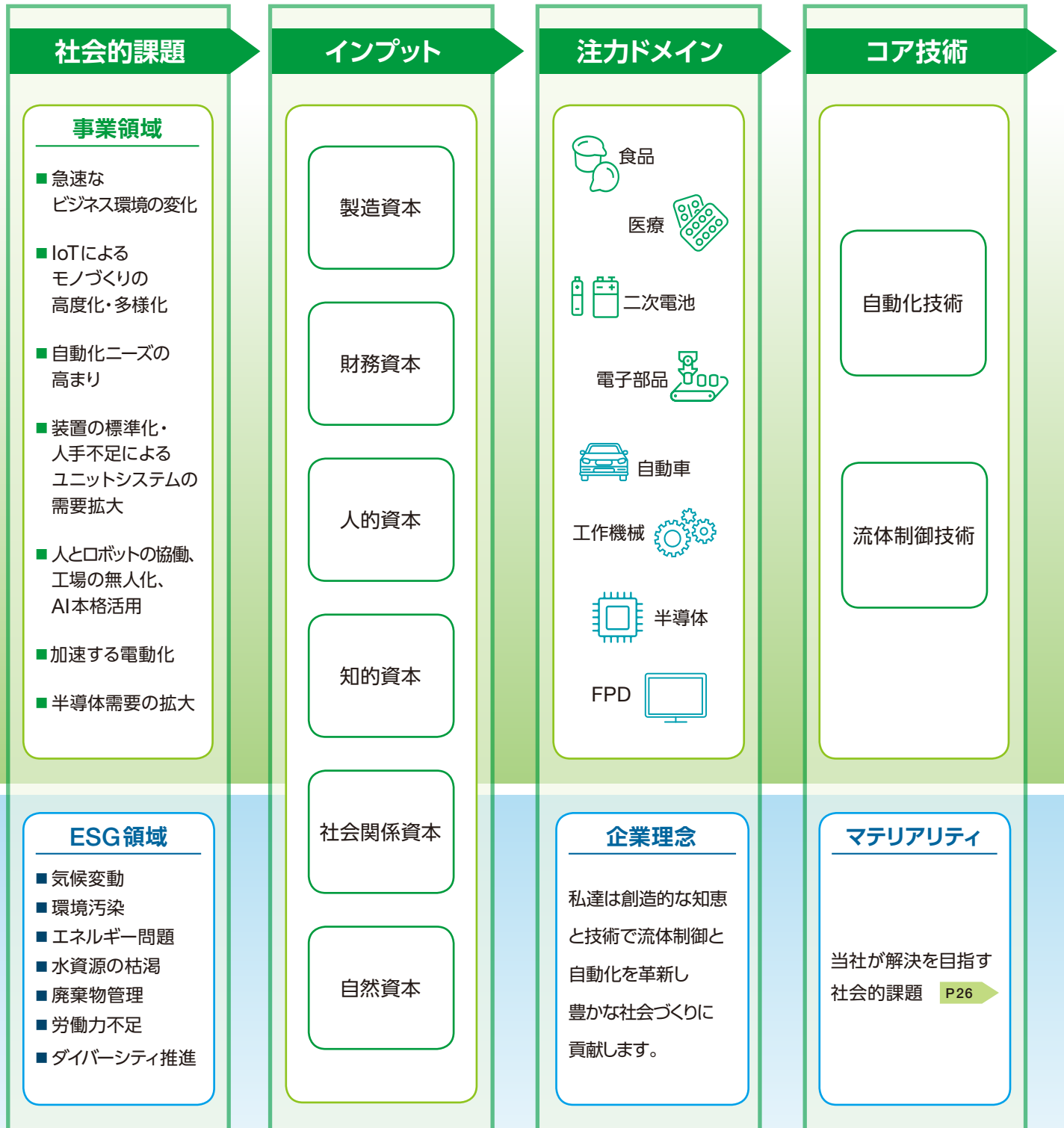
宮城県黒川郡大衡村に東北工場を竣工



東北工場

企業価値創造モデル

CKDは、各資本を注力ドメインに投入し、自動化と流体制御の事業領域を通じて、社会のさまざまな課題の解決に向けた技術革新と価値創造に取り組んでいます。これからも、社会的価値創造の循環を絶やすことなく、企業理念に掲げた「豊かな社会づくり」の実現に貢献していきます。



事業部門

自動機械事業

P18



機器事業

P20



コーポレート・
ガバナンス

P28

人材

P36

環境マネジメント
システム

P40

地域社会

P42

社会的価値の創造



ESG領域での貢献



教育



水・衛生



成長・雇用



生産・消費



気候変動